

# べっぴん 市議会だより

No.165  
2023.5.1

市民に寄り添う市政を進め、市民との協働によって暮らしやすいまちづくり



©Team Beppyon

本会議場の竹細工作品「輪狐得盛籠」

## CONTENTS

- P 2 主な議案の概要
- P 3 議決結果
- P 4 議案質疑・常任委員会審査
- P 5 予算決算特別委員会(令和5年度当初予算審査)
- P 6~11 一般質問(12名が市政を問う)
- P 12 編集後記 ほか



# 令和5年第1回定例会で49の議案を可決!

2月24日から3月20日までの25日間にわたり開催された今定例会では、予算関係15件、条例関係20件、その他6件の議案が上程されました。

また、定例会最終日に市長より追加議案として、予算関係2件、人事案件1件、さらに議会より、議員提出議案6件が上程されました。

市長提案理由では、鉄輪地獄地帯公園内に防災研修所を設置することに伴い、条例を制定する説明に加え、工事請負の契約締結について、議会の議決を求めるものとする旨の説明があり、「別府市鉄輪地

獄地帯公園防災研修所の設置及び管理に関する条例の制定について」「工事請負契約の締結について」等の関連議案については、議案質疑で活発な議論が行われました。

採決においては、8件の議案について一部議員から反対する旨の意思表示があり、そのうち議員提出議案1件が否決されました。その他の議案については、賛成多数で原案のとおり可決等すべきものと決定しました。

## ～主な議案の概要～

### ●当初予算における重点事業

※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています

**こども政策の推進** ..... 130億9,630万円

学校給食費の負担軽減事業など、「こどもまんなか社会」の実現に向けて取り組みます。

**認知症対策・健康寿命の延伸** ..... 2億5,865万円

健やかで心豊かに暮らせる社会の実現に向けて取り組みます。

**防災対策の推進** ..... 3億6,767万円

災害に強い、安心して暮らせるまちをつくります。

**経済振興・観光振興** ..... 5億3,707万円

観光DX等の事業を通じて稼ぐ別府、儲かる別府の取り組みを推進します。

### ●条例の制定及び一部改正

**別府市鉄輪地獄地帯公園防災研修所の設置及び管理に関する条例の制定について**

鉄輪地獄地帯公園内に防災研修所を設置することに伴い、条例を制定します。

**別府市都市公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について**

公園内での禁止行為の見直しに伴う条例を改正します。

### ●その他

**工事請負契約の締結について**

工事請負契約の締結について、条例の規定により議会の議決を求めるものです。

### ●議員提出議案

**議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について**

議員が長期活動不可の場合、議員報酬を減額することに伴い、条例を改正します。

**別府市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について**

個人情報の保護に関する法律等の一部改正により、個人情報の保護に関する規律が一元化されることに伴い、同法の施行に関し必要な事項を定めるため条例を制定します。



## 第1回定例会における議案等の審議結果など

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果
議第1号	令和4年度別府市一般会計補正予算(第11号)	原案可決(賛成多数)	議第26号	別府市野口ふれあい交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決(全会一致)
議第2号	令和4年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)	議第27号	別府市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
議第3号	令和4年度別府市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)		議第28号	別府市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
議第4号	令和4年度別府市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		議第29号	別府市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
議第5号	令和4年度別府市水道事業会計補正予算(第1号)		議第30号	別府市子ども・子育て支援法に基づく過料を定める条例及び別府市子ども・子育て会議条例の一部改正について	
議第6号	令和4年度別府市公共下水道事業会計補正予算(第1号)		議第31号	別府市国民健康保険条例の一部改正について	
議第7号	令和5年度別府市一般会計予算	原案可決(賛成多数)	議第32号	別府市国民健康保険税条例の一部改正について	
議第8号	令和5年度別府市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決(全会一致)	議第33号	別府市印鑑条例の一部改正について	
議第9号	令和5年度別府市競輪事業特別会計予算		議第34号	別府市都市公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について	
議第10号	令和5年度別府市公共用地先行取得事業特別会計予算		議第35号	別府市上下水道局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	
議第11号	令和5年度別府市地方卸売市場事業特別会計予算		議第36号	工事請負契約の締結について	
議第12号	令和5年度別府市介護保険事業特別会計予算		議第37号	公の施設を他の普通地方公共団体の住民の利用に供することに関する協議について	
議第13号	令和5年度別府市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決(賛成多数)	議第38号	他の普通地方公共団体の公の施設を本市の住民の利用に供させることに関する協議について	
議第14号	令和5年度別府市水道事業会計予算		議第39号	字の区域及びその名称の変更について	
議第15号	令和5年度別府市公共下水道事業会計予算		議第40号	市道路線の認定及び廃止について	
議第16号	別府市個人情報保護法施行条例の制定について		議第41号	別府市営セーリング艇庫の長期かつ独占的な利用について	
議第17号	別府市個人情報保護審査会条例の制定について		議第42号	令和4年度別府市一般会計補正予算(第12号)	
議第18号	別府市職員の特種勤務手当に関する条例の一部改正について	原案可決(全会一致)	議第43号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	
議第19号	別府市職員の退職手当に関する条例の一部改正について		議第44号	令和5年度別府市一般会計補正予算(第1号)	
議第20号	別府市鉄輪地獄地帯公園防災研修所の設置及び管理に関する条例の制定について		議員提出議案第1号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	
議第21号	別府市手数料条例の一部改正について		議員提出議案第2号	別府市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	
議第22号	別府市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について		議員提出議案第3号	別府市議会委員会条例の一部改正について	
議第23号	別府市立学校職員の退職手当に関する条例の一部改正について		議員提出議案第4号	新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の日常を守る取組の強化を求める意見書	
議第24号	別府市学校給食共同調理場の設置及び管理に関する条例の一部改正について		議員提出議案第5号	第9期介護保険制度改正に関する意見書	
議第25号	別府市公民館条例の一部改正について		議員提出議案第6号	国立病院の機能強化を求める意見書	
					否決(賛成少数)

## 賛否の分かれた議案等賛否一覧表

議案番号	件名	議決結果	会派・議員名																				
			自民党議員団 10人							公明党 4人		自民新政会 3人		市民クラブ 3人		日本共産党議員団 2人		革新 1人					
			首藤	野口	松川	黒木	松川	安部	手束	阿部	日名	梶田	堀本	市原	荒金	穴井	山本	森野	小加	森三	平野	美馬	泉
議第1号	令和4年度別府市一般会計補正予算(第11号)	原案可決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
議第7号	令和5年度別府市一般会計予算	原案可決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
議第8号	令和5年度別府市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議第12号	令和5年度別府市介護保険事業特別会計予算	原案可決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議第16号	別府市個人情報保護法施行条例の制定について	原案可決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議第17号	別府市個人情報保護審査会条例の制定について	原案可決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議第36号	工事請負契約の締結について	原案可決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
議員提出議案第6号	国立病院の機能強化を求める意見書	原案否決(賛成少数)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	

議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」、議長は「/」(採決に加わらない為)、法律により採決に加われない議案は「除」



(可決された意見書をHPにて、掲載しています)

# 議案質疑

今定例会の議案質疑では、執行部が提出した令和4年度各会計補正予算や条例などの議案に対し4名の議員が質疑を行いました。そのうち主な議案質疑を掲載します。

## 議第1号「令和4年度別府市一般会計補正予算(第11号)」について 【べっぴん創生応援寄附金について】

**問** 今回の寄附金の用途について、企業側から指定された事業以外の事業の財源としても使うことができるのか。

**答** 企業版ふるさと納税に係る寄附は、国から認定を受けた地域再生計画「別府市まち・ひと・しごと創生推進事業」に記載の事業費用に充てられることとされています。贈呈式において、株式会社イズミ側の趣旨説明では、新図書館建設事業への用途指定があり、寄附申出書においても同事業を寄附の活用事業としています。株式会社イズミ側が新図書館建設に役立ててほしいと意向を示している以上、信義則に基づき、その意向を尊重し対応しなければいけないと考えています。

**問** 今回の寄附については、報道等で周知しており、政治決着を市のトップが行ったことは政治手腕だと思っている。改めて、市長から再度説明を求める。

**答** 株式会社イズミ側とは、再三にわたって話し合いをし、継続協議をしてきましたが、第1期、2期計画含めて約束がなかなか実現できない中、今回の2億5,000万円の企業版ふるさと納税は地域への貢献として「新図書館建設」に対する寄附ということになったものであります。また、既にゆめタウン自体が地域資源となって重要な買い物の場所となっていることを考えると、今から3年半後の新たな事業用借地権設定契約に係る覚書の更新を前提で今回の企業版ふるさと納税をお受けすることに当然なってくるということでもあります。今後、過去においてもできなかったことがどういう形であれば実現できるのかということを経営側と真摯に話し合いをしながら、色々な形をもって地域への貢献策を解決していきたいと考えています。



(議案質疑の詳細はHPにて掲載しています。)

## 議第2号「令和4年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)」について

**問** 今回の補正予算に計上されている基金積立金の減額により、令和4年度末の基金残高はいくらになる見込みか。

**答** 基金残高につきましては、令和4年度末でおよそ16億円と見込まれます。

## 常任委員会審査

会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。

### ● 総務企画消防委員会

鉄輪地獄地帯公園内に防災研修所を設置することに伴い、条例を制定することについて、委員から、施設の維持管理に関して質疑があり、当局から、使用許可等は、直営とする一方、清掃等は、地元自治会への委託に向けて関係者と協議中であるとの答弁がありました。これに対し別の委員から、市民の防災知識の習得につながるような施設運営を求める意見があり、当局から、防災意識と住民福祉の向上につながるよう責任をもって活用を図っていきたい旨の答弁がありました。

### ● 観光建設水道委員会

株式会社イズミからの企業版ふるさと納税による新図書館プロジェクトへの寄附金について、委員から、今回の寄附と過去の立地協定の位置付けの整理など議会への説明が不十分であるとの意見がありました。また、昨年8月に市内8公園において実施した花火を利用可能とする社会実験の結果に基づき、公園内での火気の使用について、条件を満たす場合に可能とするなど禁止行為を見直すことに伴い、都市公園の設置及び管理に関する条例を一部改正したいとの当局説明がありました。

### ● 厚生環境教育委員会

議第33号別府市印鑑条例の一部改正については、法律の一部改正により、利用者証明用電子証明書について、スマートフォンに組み込まれた電磁的記録媒体に記録するものが規定されたことに伴い、条例を改正しようとするものであるとの説明がなされ、委員から、マイナンバーカードがあればコンビニで住民票等交付できていたものが、電子証明書が入ったスマートフォンでも可能になるのかとの質疑がなされ、当局から、法改正により令和5年5月から可能になるよう準備をしているとの答弁がなされました。

# 予算決算特別委員会(令和5年度当初予算審議)

予算審議と決算審査の循環性を確保するため、予算決算特別委員会を開催し、令和5年度の当初予算について、慎重な審議を実施しました。主な内容は次のとおりです。

## 1 当初予算編成方針等について

令和5年度は統一地方選挙を控えているため、いわゆる骨格予算ではあるが、継続中の学校給食共同調理場建替事業、小中学校等体育館空調整備事業及び総合体育館改修事業といった大型事業を計上したことから、前年度と比較して、5.4%増の588億4千万円と過去最大の予算規模となった。

## 2 歳入について

令和2年度・3年度とコロナ禍の影響で落ち込んでいた市税が、令和4年度は140億円台に回復する見込みであり、ウイズコロナへの経済社会活動の正常化が進みつつある中、令和5年度もまた、固定資産税が約2億6千2百万円、個人市民税が約4千5百万円、入湯税は約9千万円の増収が見込まれており、市税全体として、前年度比約4億8千2百万円の増加が見込まれている。

地方交付税は、国の地方財政対策により前年度比約4億1千万円の増加、湯のまち別府ふるさと応援寄附金は、2億円増加の10億7百万円が見込まれている。

市債は、大型事業の実施により24億円の増加が見込まれているが、過去の経済対策等の実施に伴う地方債の償還が令和4年度をピークに減少していく傾向から、全体として大きな影響はないとの見込みである。

しかしながら、公債費の増加は将来にわたる財政負担となり、市民の不安感につながるものであること、また、社会情勢は今後も厳しい状況が予想されることから、常に財政規律を意識し、後年度の財政運営に支障をきたさないよう適切に管理することを強く要望する。

## 3 歳出について

学校給食共同調理場建替事業、総合体育館改修事業、美術館や小中学校等体育館の空調整備事業等、教育費において対前年度95.3%の増加が見込まれて

いる。これらは、施設の老朽化や近年の猛暑対策として実施されるものであり、また、国庫支出金等を活用し、一般財源の支出を極力抑えているものとのことではあるが、財政運営にあたっては、常に適切で緊張感を持った取り組みを行うよう求めるものである。

個別事業については、消防団運営交付金において、団の運営に要する経費の一部に対し、健全な運営及び消防団活動の推進・発展に寄与するため、団員1人につき年間3千円の交付金を支給するものであるが、新たな制度であることや、各分団に申請の手続きが生じてくることから、制度の周知のみならず運用の支援に努めること、消防団の施設維持管理に要する経費では、第3分団の格納庫の移転に要する経費が1千7百万円計上されているが、火災やあらゆる災害において、消防団の活動・活躍は不可欠であり、市民の安全確保に努めるために必要な施策等は積極的に行うこと、持続可能な温泉資源活用に要する経費では、現状を的確に把握し、有識者等と十分議論しながら、「温泉マネジメント計画」の策定を進めることを要望する。

子どもの貧困対策に要する経費では、子ども食堂などへの補助金について、趣旨を踏まえた団体の選定、事業内容等の精査を行い、形骸的な制度にならないよう努めること、出産・子育て応援給付金に要する経費では、コロナ禍において増大した職員の負担を鑑み、正規職員を配置するなど必要に応じた人員の確保を要望する。

不登校児童生徒支援に要する経費では、専門的なスキルをもった支援員の確保に努めるとともに、継続雇用を可能とする環境の整備を求める。

国民健康保険税条例の一部改正では、広域化による国保財政の安定や物価高騰等による厳しい社会情勢を受け、被保険者の所得割率を0.5%、均等割額を2,000円引下げたことは適切なものと評価する。

コロナ禍の影響も残る中、急激な物価高騰等により市政運営は、依然厳しい状況が続くと思われるが、持続可能な財政運営を行うよう求める。





# 一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。3月議会では12名の議員が市当局の見解をただしました。主な内容は次のとおりです。

スマートフォン等で各議員のQRコードを読み取ることで、一般質問の録画中継にアクセスができます

自民党議員団

しゅとう  
首藤

ただし  
正 議員



## 「南部地域の振興対策」について

**問** 都市計画道路の浜脇～秋葉線（幅員16m）の事業は家屋の立ち退きも進んできたが、朝見川の橋が現行より1.5m高くなる計画になっているため、南側の市道部分の改良が必要になってくる。既に浜脇川の市道部分の改良設計は出来上がっているが、住吉温泉前から松原公園前を通り楠銀天街に通ずる道路の計画は未定である。この事業は、楠銀天街問題の新たな開発にとっても急務の事業ではないか。工事は補助事業で進めてほしい。市道整備の支障物件の除去については、国、県の補助対象となると聞いているが、国や県に交渉しているのか。

**答** 橋の北側は、市道日の出国分町線になりますが、都市計画道路浜脇～秋葉線に接続する部分で、都市計画道路の整備により影響の出る所につきましては、地元や関係機関と協議し、通行等の支障がないように整備を行うこととしています。また、楠銀天街につきましては、アーケードを撤去した際、道路整備を実施する予定としていますが、道路整備は、都市再生整備計画に基づく都市構造再編集集中支援事業により国の補助金をいただくことを検討しています。現在の計画では、アーケードの解体につきましては補助対象となっておりませんが、引き続き、県とも相談しながら調査等をしていきます。

**問** 南部地区には、なかよし公園、松原公園、浜脇公園の都市公園があり、「まちなか公園」として住民に親しまれている。特に、浜脇公園は隣接して、マンションや病院等が存在する特殊な公園であり、津波等の災害時に避難する道路が必要です。浜脇～秋葉に接続する道路の新設を地域として要望しているが、どのようになっているか。

**答** 県や関係部署、関係者として協議させていただいたうえで、今後決定していくと思います。ご要望については、しっかりと受け止めたいと思います。

自民党議員団

ひなごあつこ  
日名子敦子 議員



## 「子育て支援」について

**問** こどもに関する手続きは色々ありますが、「こども部」設置によって手続きや相談支援についてはどのようになるか。

**答** 手続きについては、こども家庭課と子育て支援課の2課で行います。相談業務については別府市保健センター内のこども家庭センターが包括的窓口となります。妊娠からこどもの成長過程において、迷うことなくひとつの相談窓口にてご相談いただけます。今後は、さらに切れ目のない支援が出来るようになります。

**問** 別府市は令和5年度当初予算の概要において、重点施策としてこども政策の推進を行い、「こどもまんなか社会」を市長が提案している。今後、具体的にどのような社会を目指しているのか。

**答** 子どもという尊い存在を中心に施策を行うため新設するこども部、こども家庭課、子育て支援課とでしっかりと取り組んでまいります。教育とも連携を行い、切れ目なく子どもたちの健全な育成に寄与します。過保護ではなく、別府市の子どもたちが将来強く、しなやかに生きることができるよう、また、生まれ育った環境に関係なく、健全に自立できるよう、サポートをしていく必要があると思っています。さらに、子育て環境と教育環境の整備だけではなく、子ども見守りシステムを活用した、DX等による子どもたちの傾向の「見える化」を行い、集約した情報をもと

に、子どもたちの抱える課題の早期解決に努めていきたいと思えます。今までやってきたことを退化させることなく上積みを行い、子ども見守りシステムの構築を行い、子どもたちの健全な育成に役立てていきたいと思っています。



## 「市職員の長時間労働と休職者の現状及び対策」について

**問** ▶ 令和3年9月定例会で、市職員の時間外超過勤務時間の上限を定め、1年半経過したが、時間外勤務の状況はどうなっているか。

**答** ▶ 令和4年4月から令和5年1月までの期間における延べ人数は、月に45時間を超えた職員が222人、100時間を超えた職員が10人となっています。

**問** ▶ 月100時間超えの職員がいるが、どういう業務内容か。

**答** ▶ 参議院通常選挙や国の特別給付金等の業務であり、臨時的な業務です。

**問** ▶ 条例や規則を整えても中身がなければ意味がない。季節的に業務が多忙になる場合はやむなしとしても、年間を通じて時間外が多い職場の業務内容は把握できる。長時間労働縮減の取り組みをどうしているのか。

**答** ▶ 月2回の時間外勤務の状況調査を行っており、可能性のある職員については所属長と業務内容の確認・分析と改善を行っています。

**問** ▶ 長期病休者、育児休暇取得者の現状は。

**答** ▶ 市長事務部局、教育委員会で病気休職者10名、育児休業の取得者23名となっています。

**問** ▶ 職員数がギリギリの中で、1人が長期病休に入ると、残された職員に大きく負担がかかる。対策はどうしているか。

**答** ▶ 病気に伴う休暇や休業については予測が困難ですが、必要に応じて人事異動や事務分担の見直し、正規職員の補助的業務として、会計年度任用職員を雇用することにより対応しています。加えて、業務改善に継続的かつ積極的に取り組むことにより職員の負担軽減

を図ってまいります。



## 「マイナポイント事業」について

**問** ▶ 最大2万円分のポイントが付与される国のマイナポイント事業について、ポイントの申し込みに必要なマイナンバーカードの申請期限は2月末までとなっていた。別府市のマイナンバーカードの申請状況はどうなっているか。

**答** ▶ 本市のマイナンバーカードの申請数は、2月末日現在、83,193件となっています。申請率は73.3%で、全国平均の72.6%を初めて超えました。カードの申請期限が当初の9月末から12月末、2月末と2回延長されたことで、昨年9月以降、毎月3,000件から5,000件の申請がありました。

**問** ▶ 市のサポート窓口が混雑し、最大2時間の待ち時間が発生したとのことだが、マイナポイントの申し込み期限は5月末となっており、今回カード申請をサポートした皆さんに対して再度、ポイント申請の支援が必要になると考える。窓口の大混雑を避けるため、どのような取り組みをしていくのか。

**答** ▶ マイナンバーカードの普及促進の取り組みについてですが、継続的に広報を行い、皆さまに呼び掛けていくこととともに、できるだけ便利の良い場所で、待たずに安心して申請ができるサポートを提供することが必要だと考えております。内容としましては、これまでも市役所常設窓口のほか、市内の商業施設や学校、職場等に年間200回以上の出張窓口を開設し、2か月ごとに窓口のスケジュールを掲載したチラシを各戸配布しました。窓口をできるだけ、市民の皆さまの目に触れる場所で開くことは広報の意味でも重要だと考えており、今後につきましても、状況に応じ予測を立てながら、質の高いサポートができるよう努めてまいりたいと考えています。

※マイナポイントの申し込み期限は、令和5年3月31日に9月末まで延長されることが発表されました。



## 「デジタル化による行政業務の効率化と利便性の向上」について

**問** ▶ マイナンバーカードの2月末での、別府市の申請率は。

**答** ▶ 本市の申請数は83,193件で、人口に対する申請率は73.3%です。普及促進に力を入れて取り組んだ結果、全国平均の72.6%を0.7%上回りました。

**問** ▶ 市役所に行かなくても申請ができる「行かない窓口」の取り組みでは、マイナンバーカードを利用したコンビニでの証明証交付サービスなどの利用数が伸びている。一方、市役所窓口で証明書を申請する時に、高齢者や障がいのある方など、申請書の記載が困難な方もいる。デジタルを活用することで申請書を自動的に作成する「書かない窓口」の導入に関して別府市の取り組み状況はどうか。

**答** ▶ 申請者の負担軽減になることから、別府市でも、マイナンバーカードを利用した申請書の記載内容の自動作成サービスなどの調査、研究を行っています。国では令和5年度の夏頃を目途に「書かないワンストップ窓口」サービスを提供する予定になっており、この動向を注視し、調査、研究を行っています。

**問** ▶ スマートフォンなどのデジタル機器やサービスの使い方をサポートする「デジタル推進員」を増やしていくことが重要と思うが、別府市における取り組みはどうか。

**答** ▶ 本市では、令和3年度に国の「デジタル活用支援推進事業」を行い、スマートフォン講座を地区公民館等で12回、延べ112名の受講者を対象に実施しました。令和4年度は、各地域でひとまもり・まちまもり協議会がスマホ教室を実施し、デジタル推進クラブを立ち上げ、地域の人たちが講師になって開催している協議会もあります。市では、デジタル活用推進員の紹介などを行い、将来的には「近所の人教え合う」モデルを構築していきたいと考えています。



## 「おじかの利活用と現状」について

**問** ▶ おじかは、市の直営で市内の子どもたちを受け入れてきたが、令和2年10月11日から施設の老朽化及び新型コロナウイルス感染症の影響により現在の施設での利用が困難であることから休館している。休館前と休館後で利用者数及び管理費はどのようになっているのか。

**答** ▶ 利用者数につきましては、休館前の平成29年度から令和元年度までの3年間の平均で8,424人、休館後の令和2年度は1,291人、令和3年度は1,502人となっています。また、管理費につきましては、休館前3か年の平均が約4,100万円、令和2年度は約2,600万円、令和3年度では約1,200万円となっています。

**問** ▶ おじかは昭和54年の開館以来、別府の未来を担う子どもたちの成長・育成の場である社会教育施設として重要な役割を担ってきた。新型コロナウイルス感染症拡大の影響と施設の老朽化により休館しているが、現状と今後について教育委員会はどのように考えているのか。

**答** ▶ 今後も引き続き、社会教育施設として提供しなければならないと考えております。既存施設は老朽化して耐震性が確保されていないこと、一部が土砂災害警戒区域に指定されていることを踏まえ、今後の整備の方向性を検討しております。

**問** ▶ おじかは、社会教育施設として貴重な財産であるだけでなく、別府市民の思い入れが深い施設であるため、より多くの市民の意見を汲んで新たな施設としてスタートしていただきたいが、どのように考えているのか。

**答** ▶ おじかは貴重な自然体験学習の場であり、これからも必要な施設であると認識しております。今後、おじかを宿泊学習施設として継続するため、既存施設の改修方法や運営方法等、受託事業者による専門的な知見を基に作業を進めております。今後、学校や関係者の方々からのご意見を伺い計画を策定してまいりたいと考えています。



## 市民クラブ

み え ただ あき  
三重 忠昭 議員



### 「高齢者優待入浴券交付事業等」 について

**問** 温泉による医学的効果で、疾病リスクの軽減が実証実験で確認されている。健康寿命延伸の観点から、以前、廃止となった高齢者優待入浴券交付事業を復活させてはどうか。

**答** 福祉事業の在り方や検討委員会からの意見、市営・区営温泉の経営状況などを総合的に判断し、制度の廃止を行いました。市民入浴券を利用していただき、安価な負担で健康につなげてもらえればと考えております。

#### 【アーバンスポーツ施設の整備について】

**問** スケートボードやBMXなどオリンピックの影響もあり、競技人口や愛好者が増加している。安心・安全な公園利用のため施設整備をしてはどうか。

**答** 来年度、公園利用のニーズ調査を行う予定です。調査結果を踏まえ整備の検討をします。

#### 【新採用教職員の頻繁な広域異動について】

**問** 県教育委員会の独自の異動ルールや、長時間労働が、教職員のなり手不足や教職員未配置の要因となっている。令和4年第3回定例会において、異動ルールの改善に向けた意見書を提出したが、その後の県の動向は。

**答** 知事から「教職員の負担を軽減し、魅力的な採用制度や職場環境を作ってほしい」との要望を受け、広域異動制度の見直しを含め、市町村教育長会議で議論を行っています。

**問** 異動対象者の声を県の教育委員会に伝えているか。

**答** 長距離勤務による心身の疲弊や、保育所への送迎の難しさなどの実情を県に伝えています。

#### 【子どもまんなか社会について】

**問** 公立幼稚園において、子どもへのきめ細やかな対応を可能にする少人数学級や正規職員の採用が必要だと思われるが、どのように考えているか。

**答** 就学前教育・保育振興プログラム及びビジョンを策定する中で検討していきます。

## 行財政改革クラブ

いずみ たけ ひろ  
泉 武弘 議員



### 「市は本気で棚田の多面的な活用」 について

**問** 大分県は2021年に大分県農業非常事態宣言をしている。農業を取り巻く環境は厳しさを増しているが、市内の農地面積と耕作放棄地面積は。

**答** 田畑の総面積は、479ヘクタール耕作放棄地面積は138ヘクタールです。

**問** 令和4年「つなぐ棚田遺産」に別府市の5か所が指定された。指定棚田を後世に残すためにも棚田の交流人口を増やすことが極めて重要であるが具体策は。

**答** 別府市では、棚田イベント「湯のまち棚田マルシェ」、田植え・稲刈り体験などの交流イベントを開催することで、交流人口の増加による地域振興を考えております。

**問** 農業関係者の高齢化や人口減少で棚田を守ることは難しくなっている。棚田の多面的な活用方法として、農業と福祉＝障がい者・高齢者・子ども・不登校児童等が安心できる空間、憩いの空間、笑顔が溢れるテント村の設置。農業と観光＝国内外の観光客との交流。農業と教育＝子どもの農業体験など多面的な活用が考えられるが。

**答** 農業との連携については、観光面では、棚田交流イベントの開催、福祉では、福祉関係者と連携をした実績がございます。また、教育では、子ども達の収穫体験を実施しています。

**問** 多面的な活用には、道路、トイレ、直売所、休憩所、交流施設、駐車場の整備や新設が必要となるが。

**答** 全体のバランスを見ながら、5地区の棚田の代表者などで組織されている棚田地域振興協議会にて、必要性についての調査、研究を行っていきたいと考えております。

**問** 堂面棚田は、全国のモデルにできると信じている。農業振興や棚田を本気で守るのは言葉だけではできない。取り組む覚悟があるのか。

**答** 棚田全体を考えつつ、堂面棚田の役割や

どのような機能を担っていくのか、持続可能か等、できるところから具体的に協議していきたいと思います。



## 「別府市の契約・水道局・公園行政・株式会社イズミ」について

**問** 水道局贈収賄事件について、再発防止のために上下水道局がどのように対応してきたか。また、今後の取り組みについて伺いたい。

**答** 再発防止については、企業管理者を中心とした上下水道局業務改善委員会で検証を行い、様々な再発防止対策等を行っています。今後は、水道局全職員対象の公務員倫理研修を実施し、高い倫理観を局内に醸成させることで、再発防止に引き続き努めてまいります。

**問** 先般の所管事務調査において、退職金の返納について当事者の生活の状況を考慮し、退職金の一部または全額を返納するとあるが、その後どのような対応を行っているか。

**答** 当該元職員に係る退職金返納手続きについては、関係法令に基づき、必要な手続きを行っています。

**問** 春木川公園整備事業は、中止ではなく、工期遅れである。材料高騰による設計変更で、工期がさらに遅れるようだが、工程表についてはどのように管理しているのか。

**答** 工事期間は工程表として提出されています。現在、工事期間の変更について事業者が協議を行っており、再度提出される予定でず。

**問** 立地の際に、株式会社イズミと締結した協定書はどのような効力を持っているのか。協定にある地域振興への協力などの不履行については賠償の対象にならないのか。

**答** 立地に関する協定書には、12の条項をもって協定していますが、損害賠償を明記した規定はありません。

水道局の件については、所管事務調査案件です。2年以上たちます。今後もしっかりと対応していただきたい。



## 「市民の移動手段の確保」について

**問** 別府市では、市街地においても交通不便地域が発生しており、前回の議会でも、地域の意見を聞きながら交通不便地域の解消に向けて取り組んでいかなければならない喫緊の課題であるとの答弁がされた。あらためて認識と現在の取り組み状況を伺いたい。

**答** 人口減少等により、地域の公共交通の維持が厳しい状況にある中、医療や福祉、買い物などの移動手段の確保は、市民の生きがい、健康維持にも影響する重要な課題だと考えています。別府市では、交通不便地域に対しては、住民の需要、ニーズに応じた利用しやすい運行方式を検討することとしており、対象となる地区の自治委員や民生委員との意見交換会を実施し、1月には住民アンケートを行いました。

**問** アンケート調査の回答状況は。

**答** 人口集積や地形等で優先される地域として、扇山地区の70歳以上の方、1,468人を対象に、移動手段や公共交通の利用状況、必要な移動サービス、自宅から乗り場までの許容時間、利用料金などのアンケートを実施しました。回答状況は、810件、回収率は約55パーセントです。

**問** 福岡県小郡市では市、まちづくり協議会、地域住民の協働で自治会バスを運行しており、交通不便地域では有効な手段であると思う。アンケートは半数以上の回答があり、地域住民の関心も高い。結果に沿った事業を行うことが重要だと思うが今後の対応は。

**答** 当該地域では、ジャンボタクシーサイズの車両でも運行困難な場所があり、坂道が多く、高齢者の徒歩での移動には大きな負担がかかっているとの声もあります。車両の種類や運行ルート、運賃、既存の公共交通との共存、市の財政負担などの課題は多くありますが、自治会バスを含めた、住民にとって利便性の良い交通手段の確保について、引き続き地域住民と協議してまいります。





## 「新図書館・教育行政」について

**問** 新図書館については、市民の意見を取り入れながら設計を進めるよう求めてきたが、公開されなかった。少なくとも敷地全体の平面図は公開すべきではないか。

**答** イメージ図は公開しており、レイアウト配置の概略図も、適切な時期に公開します。

**問** 新図書館の駐車場はどうか。工事中は今の臨時駐車場は使えないと思うが、市役所来庁者のための代替駐車場はどうか。

**答** 建物が富士見通り沿いになり、駐車場は建物の北側（水道局側）となります。工事中の代替駐車場については、確保に努めてまいります。

**問** 建設費は32～36億円程度と言われてきたが、最終的にはどうか。

**答** 資材高騰などにより、令和3年度からの総事業費は45億円超と見込んでいます。

**問** 市立小中学校の不登校者数、いじめ件数の推移及び5年前と現在の特別支援学級の学級数と在籍者数の推移は。

**答** 不登校者数は、昨年度215人、今年度2学期末で223人です。いじめの認知件数は、令和2年度が1,354件、3年度が1,545件です。特別支援学級数と児童生徒数は、平成29年度が46学級、186人、令和4年度が53学級、281人です。

**問** 就学援助制度の利用者数と利用割合は。

**答** 小学校が1,011人、21%、中学校が670人、27%です。

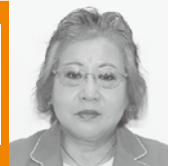
**問** 教員の長期病休者数、うち精神疾患による病休者数はどうか。

**答** 令和4年度は長期病休者15人、うちメンタル要因は11人です。

**問** 子どもは、様々なストレスにさらされながら学校生活を送っており、子育て世帯の貧困化もすすんでいる。また、教員も様々な問題を抱えている中、教員定数を増員するなど

行政の支援は急務であるが。

**答** 全ての子どもたちは、生まれた環境によって夢を描けなかったり貧困に陥ったりすることなく、幸せになる権利があります。そのためには、こどもまんなか社会実現に向け、人と人とのつながりを教育の中でしっかり取り組み、こども見守りシステムという目に見えてこなかったことを見える化しながら、全ての子どもたちが夢を思い描けるような別府市にしていきたいと思っています。



## 「2類相当から5類への移行・学校給食」について

**問** 国は令和5年5月8日より新型コロナウイルス感染症の位置づけを「2類相当」から「5類」に移行することを発表している。また、先行して、3月13日からマスク着用について基本的に個人の判断に委ねられるようになるが、5類に移行となっても感染が減少するということではない。今後、国は、検査や外来診療は自己負担と打ち出している。検査が有料になれば、不安でも検査に行かない人も出てくるのではないかと危惧している。市では、5類に移行することによって市民の生活にどのような影響が出てくるか。

**答** 新型コロナウイルスの感染法上の位置づけの変更に伴い、入院や外来の取り扱いが変更になると認識しており、これまで取ってきた各種対策・措置等変更される部分が多くあると考えております。国におけるスケジュールとしましては、今後具体的な内容を検討・調整を進めていくと伺っておりますので、具体的な内容が示され次第、必要な対策を講じていきたいと考えております。

**問** 学校給食に地元の食材の活用を推進していくにあたり、今後どのように運営をされていくのか。

**答** 食材の発注は、センター化後も教育政策課を中心に行います。

安心安全な食材で給食を届けることは、委託した調理業務以上に大切だと思う。食材調達の仕組みには要となる新たな部署の設立も視野に入れて進め、「こどもまんなか」というからには、子どもたちの意見も聞いていただきたい。

## 議会改革推進研究会の 活動報告について

議会改革推進研究会では、昨年から計8回にわたり、本市議会が抱える懸案事項のうち、議員の長期活動不可の取り扱い、個人情報保護条例の制定及び議会における災害対応等について協議を重ね、協議の結果を議会運営委員会に報告を行いました。



## 政策研究会の 調査研究報告書について

本研究会では、令和3年度より地産地消条例について役員会議を開催し、条例を制定している他市への視察や、市内の学校給食共同調理場等への調査・研究を実施しました。令和5年2月に今回の調査の結果を政策研究会の会長より議長へ報告を行いました。



※議会改革推進研究会、政策研究会の詳細については、別府市議会HPにて掲載しております。

### 本会議を 中継しています

別府市議会では、市民の皆さまに議会をより身近に感じていただけるよう、ケーブルテレビとインターネット、スマートフォン、タブレット端末による本会議の生中継と録画中継による本会議の放送を行っています。



©Team Beppu

#### 放送日時

本会議開催日(午前10時から)

#### 放送内容

議案の提案理由説明、議案質疑、一般質問など

#### 放送メディア

ケーブルテレビでの中継

CTBメディアとんぼチャンネルで生中継します。

#### インターネットでの中継

別府市議会ホームページ

<https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>

にアクセスしてお入りください。(また、全日程終了後、概ね1週間後から約2年間録画中継を放映しています。)

※議会議録は公式記録でありません。公式記録は本会議後に調製する会議録となります。



### 編集後記



令和五年第一回定例会は、任期最後の議会でした。この四年間、様々な論議が議会で行われました。現職議員である萩野忠好議員、河野数則議員が逝去されました。これまでの議員活動に敬意を表したいと思います。また、堀本博行議員、平野文活議員、荒金卓雄議員が勇退され、梶田貢議員は鞍替えをすることとなりました。皆様方の今後のご活躍を切に願うものです。

さて、広報広聴委員会では「開かれた議会」を目指し情報公開に努め、ホームページの改革に取り組みました。委員会の協議録の公開、所管事務調査の掲載など、できる限り公開するようにしました。また、QRコードを載せ、スマートフォンからもアクセスできるようにしました。より議会が身近になったものと思われまふ。最後に、市民の声を聴くことが、議会、議員の基本原則であります。たくさんのご意見ご要望を聞かせていただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

別府市議会広報広聴委員会

委員長 安部 一郎